



平成 23 年 2 月 1 日

各 位

会 社 名 東邦ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 濱田矩男
 (コード番号 8129 東証第一部)
 問 合 せ 先 執行役員財務部長 荻野 守
 (電 話 03-5259-9520)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 12 日に公表した平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,060,000	12,000	14,700	8,300	111.49
今回修正予想 (B)	1,043,000	5,600	8,900	6,800	91.34
増減額 (B-A)	△17,000	△6,400	△5,800	△1,500	
増減率 (%)	△1.6	△53.3	△39.5	△18.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	1,002,122	10,939	14,133	8,263	125.69

修正理由

当期は、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行を主とする新薬価制度導入を受け、適正利益確保の営業方針の下、商品特性に応じたきめ細かい販売活動を推進し、薬価差圧縮による利益確保を目指してまいりました。しかしながら、第 3 四半期累計期間の売上高は、医薬品卸売事業では今期は前期ほどインフルエンザが流行していないことやジェネリック医薬品の伸長による長期収載品の売上減少等から予想を下回りました。

一方、メーカーからの実質仕切価（仕入れコスト）の上昇をカバーすべく取り組んできた薬価差の圧縮が、第 3 四半期に入り、卸間の競争激化や価格交渉の妥結の遅れ（12 月末売上ベース妥結率 52.3%）などにより計画通り進まず、売上総利益率が計画を下回る結果となりました。販管費については金額ベースでは計画内の水準に収めることができましたが、売上高の未達、売上総利益率の低下に加え、平成 22 年 2 月に新規連結化した株式会社アスカムとの統合効果が当初の見込みを下回ったことにより、営業利益、経常利益、当期純利益とも計画を下回りました。

かかる状況下、今後の競争激化、価格交渉未妥結先との交渉見通しの厳しさから、当初予想を達成することは難しいものと判断し、平成 22 年 5 月 12 日に公表しました平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上